

《令和7年度 国際製菓専門学校 学校関係者評価委員会 評価報告書》

大項目	令和6年度 本校の「自己点検・自己評価報告書(概要)」
<p>基準1 教育理念目的・育成人材像</p>	<p>(1)本校の教育目標「知(ち)・技(ぎ)・倫(りん)・汗(かん)」とその理念は、「学生生徒便覧」等に、わかりやすく、明示されている。学外へも、主にホームページ、学校パンフレットで公表している。</p> <p>(2)本校では定期的に関心事項等を見直している。今後も「教育課程編成委員会」への諮問や、業界の動向などを見ながらカリキュラムの編成を行っていく。</p>
<p>「学校関係者評価委員会による評価」及び「本校の改善策」</p>	<p>【委員の評価・意見】 ・概ね良好。ふれずに継続して取り組んでいただきたい。</p> <p>【改善策等】 ・本校の理念を体現するため、引き続き「挨拶」「清掃」を中心に指導していく。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p>(1)業務運営における意思決定は、学校法人及び学校内の各会議によってなされる。最高議決機関としての「理事会」とその諮問機関である「評議員会」の位置づけや役割、機能も明確化され、事業計画に基づいた効率的な意思決定を図っている。</p> <p>(2)外部委員が中心となる「教育課程編成委員会」及び「学校関係者評価委員会」を定期的に行い、第三者からの視点による情報提供・助言も積極的に学校運営に反映させている。</p> <p>(3)学校業務分掌は、「運営組織図」に基づいている。各教職員の職務分掌・責任を詳細に明記している。今後も定期的に行い整備していく。</p>
<p>「学校関係者評価委員会による評価」及び「本校の改善策」</p>	<p>【委員の評価・意見】 ・立川市内で先日小学校襲撃事件があったように、いつどんな不測の事態が起こるか分からない。何か対応策等は検討しているか。 ・保護者との連携を常日頃から取るようお願いしたい。やはり親としては「分からない」ことに不安を感じる。</p> <p>【改善策等】 ・特に事件を受けて会議等は開催していないが、保護者との日頃の情報共有やコミュニケーションを意識して今後も学校運営を行っていく。 ・約2年に1度、警察署にご協力いただき、さすまた等を用いた訓練を行っている。 ・連絡アプリ「ブレンド」の導入により、教員と保護者間での相互コミュニケーションが可能となった。また、学生・生徒の下校時刻は遅くても18時厳守を徹底している。</p>

<p>基準3 教育活動</p>	<p>本校の教育活動は、本校の教育理念、教育目標「知・技・倫・汗」に基づいている。</p> <p>(1) 学習指導の重点(知) ① 基礎的・基本的事項の徹底 ② 一人ひとりの生徒・学生の能力・個性を生かした授業</p> <p>(2) 実習指導の重点(技・汗) 専門技術を修得させることとともに、技術を磨くのに必要とされる「強い精神力・忍耐力・体力」も身につけさせる。また衛生管理についても徹底指導をしている。</p> <p>(3) 生活指導の重点(倫) 全教職員は共通理解のうえで一人ひとりの生徒・学生の個性・能力・適正を的確に把握した指導を行う。そのうえで、自己実現能力を修得させることを生徒・学生指導の最終目的としている。</p> <p>(4) 進路指導 就職希望者全員の要望に応えるよう懇切丁寧な指導を行う。 企業・社会からのニーズに合致した教育内容とするため、業界関係者などから意見を聴取し、カリキュラムへの反映に努めている。進学をサポートも懇切丁寧に行う。</p> <p>(5) 諸検定について(知・技) 一つでも多くの資格を取得し、社会に貢献できる人間を育成する。</p> <p>(6) 学校行事(倫・汗) 学園祭、宿泊研修、学外研修を通して生徒・学生の人間教育を行う。</p>
<p>「学校関係者評価委員による評価」及び「本校の改善策」</p>	<p>【委員の評価・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(学力の二極化が起きているという報告を受けて)教育現場では順位がつかない、差がわからないような配慮が行われているが、社会に出たら、どうあっても差は生まれる。 ・学習指導に関して、時代に合わせ、今までにはない具体的な指導方法と対策を考えていかなければならない。 ・学校のブランド化を図ること、学校がどの方向を向いてやっていくのか、指針をよりはっきりさせていくことが重要だと思う。今の時代、「知・技・倫・汗」の教育理念を変えないでいく、という事のほうが難しいかもしれないがぜひ継続して行ってほしい。 <p>【改善策等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座学だけではなく、実習等の班でもできる学生とできない学生との差が大きくなっている。実習教員を含む教職員全体で、改善策について検討し、実行していく。 ・二大重点目標である「清掃」「挨拶」に力を入れ、「知・技・倫・汗」の教育理念を体現していく。引き続き、校内清掃を重点的に行う「環境美化の日」についても、全校生徒・学生で分担を決め、計画的に実施していく。

<p>基準4 教育成果</p>	<p>(1)就職率向上のため、担任・教務・実習・進路指導の各職員が、多方面から指導・アドバイスを図り、学校全体で支援する環境を整えている。</p> <p>(2)進路先のミスマッチを避けるため、在学中毎年12月の3週間に渡る企業研修については、時期を拡大して、8月の夏休みと3月の春休みにも行う対応をしている(希望者対象)。枠を広げたことで12月の繁忙期での研修実施がスムーズになり、さらに学生が自主的に研修先を探してくるなど、本人の意識向上・他学生への良い影響に繋がっている。</p> <p>(3)製菓衛生師の資格取得にも大変な力を注いでおり、また様々な各種検定にも意欲的に参加する学生生徒が増加している。特に製菓衛生師試験の在学中の受験については、毎年非常に高い合格実績をあげている。</p> <p>(4)退学者、退学予備軍が生じないように、担任・副担任・教務・実習の各職員が、出席率・授業態度を共有し、絶えず学生生徒とコミュニケーションを取り、ケースバイケースでの面談実施を計り、情報共有化のもと、保護者との密な連絡を行う等、退学率の低減に努めている。</p>
<p>「学校関係者評価委員による評価」及び「本校の改善方策」</p>	<p>【委員による評価・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね良好。他校のように卒業生も利用できる独自の求人サイトがあればなお良い。卒業生の人材も業界では大変魅力的である。 ・卒業後も関係性を構築していけるコミュニティとして同窓会を活用してはどうか。 ・クラウドファンディングとまでは言わないが創立〇周年等を活用して、卒業生のコミュニティづくりをぜひご検討していただけたらと思う。学校の付加価値的な部分に繋がり、良いスパイラルになればよい。 <p>【改善策等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育成果が学外から見ても一番分かりやすいイベントとして、学園祭がある。これを大いに活用し、直売、技術披露、高校生レストランの実施などを引き続き行うことでPRしていく。今年度は来場者参加型イベントを行う予定。卒業作品展は、学園祭とは別枠で行う。 ・SNS等活用をし、卒業生がまた学校を向いてくれるようなイベント、システムづくりをしていく。

<p>基準5 学生生徒支援</p>	<p>(1) 学生生徒相談に関しては各クラス担任及び副担任を中心に学生生徒指導を行っており、個人面接も年間行事予定表に組み入れて実施している。また、進路指導担当の進路面接も必ず定期的に行っている。</p> <p>(2) 学生生徒の経済的支援については、奨学金・教育ローン・学割などの利用が可能であるほか、特待生制度が設けられており、合格者には授業料全額または半額免除という減免措置を行う。また、AO入学者や指定校推薦入学者、留学生に対しての入学金減免措置等が設けられている。</p> <p>(3) 学生生徒の健康管理面については、年度初めに校医の内科検診ほか健康診断を実施している。また、実習があるので検査機関に細菌検査を定期的に依頼している。養護教員は置いていないが、保健室があり、職員室にいる教職員全員で体調不良者やけがへの対応を行っている。学校から5分ほどのところに総合病院、また車で5分ほどのところに救急医療病院などがあり、病気やけがの状況に応じて各医療機関を利用している。</p> <p>(4) 課外活動に関しては、デコレーションの活動があり、専任教員と助手の指導のもと、長期休暇や土曜日あるいは放課後、実習室を利用しコンクール入賞を目指して前向きに活動している。</p> <p>(5) 学生生徒の生活環境については、近隣の業者と提携し担当職員が学生寮やアパートの斡旋を行っている。</p> <p>(6) 保護者との連携は、学生生徒の欠席の場合など担任が必ず家庭と連絡を取ることになっており、家庭との協力体制を普段から築くことにしている。</p> <p>(7) 卒業生の支援については、就職担当が転職等の相談に応じているほか、同窓会をたちあげ、情報交換の場を提供しようと動いている。</p>
<p>「学校関係者評価委員による評価」及び「本校の改善方策」</p>	<p>【委員による評価・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね良好。 ・経済面以外での退学者が少なくなってきたことから、教員、学校側の努力が感じられる。 <p>【改善策等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路指導等においては引き続き、個人面談の定期的な実施など寄り添った対応を行っていく。 ・地方から上京して通う学生・生徒が増えてきており、学生寮等について希望に沿った対応ができるよう検討していく。 ・今年度から導入した連絡アプリ「ブレンド」により、出欠管理などがスムーズになり教職員の業務負担軽減に繋がっている。教員同士の情報共有にも活かされることで、退学者減に繋がっている。

<p>基準6 教育環境</p>	<p>(1)施設・設備は効果的に教育目標を達成できるように、より良い環境の中で教育学習を行えるように、かつ安全・快適な教育環境を提供できるように整備している。</p> <p>(2)学外実習は、就業体験を通して卒業後の進路を考える際に活かされている。</p> <p>(3)海外研修においては、海外の事情や異文化、習慣の見聞とともに体験を通して、広く国際理解や国際親善の精神の向上を図る。同時に専門技術・知識を修得できるプログラムが組まれている。国際舞台で活躍するグローバルな視野をもつ人材の育成を目指している。</p>
<p>「学校関係者評価委員会による評価」及び「本校の改善方策」</p>	<p>【委員による評価・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に問題なし。 ・学生にとって社会経験のある卒業生と接する場は貴重なため、今後もぜひそういった機会を設けてほしい。 ・海外研修旅行では円安の影響はどうか。 <p>【改善策等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習課の教員意見を取り入れながら設備等改善に努めていく。また、今年度は全館にWi-Fiを設置した。ICT教育をすすめるため、アプリ「ロイロノート」の導入も行い、作品やレシピの共有などに今後活用していく予定。 ・海外研修旅行については、今年度、専門課程2年生のヨーロッパ研修でスペインとフランスに行く予定である。 ・昨年度に引き続き、企業研修(スタージュ)をフランスで行う学生がいる。 ・円安による、特にユーロ高の影響が大きく、海外研修旅行中の食事の選択等に影響が出ている。

<p>基準7 学生生徒の募集と受け入れ</p>	<p>(1)現在、本校にとって最も重要な問題は、少子化に伴い、入学者の減少傾向が見られることである。このための有効な対策を見出すのはなかなか難しいが、中期的な構想を実現させるために教職員が一体的な取組みを展開できるように、今後も定期的に会議を設け、発展的な意見をさらに出しあえるような組織づくりの構築を強化する。</p> <p>(2)「食」という仕事の知識と技を専門的に学べる専門学校に進みたいと希望しつつ、経済的理由から断念せざるをえない学生生徒には、夢を叶える方法として各種の奨学情報をPRする。</p> <p>(3)募集活動は志願者、保護者、中学・高校の先生方の考え方や動向に敏感なことが肝要である。今後も教育理念は守りつつ、志望者ニーズに柔軟に対応していく必要がある。</p>
<p>基準7 「学校関係者評価委員会による評価」及び「本校の改善方策」</p>	<p>【委員の評価・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいパンフレットを拝見して、より魅力的になったと感じた。入学希望者が増えてきているということが感じられる。 ・ブランディングをより意識して生徒募集を行って行く必要がある。製菓業界も技術の世界だけではやっていけない時代となった。プロの在り方として、実践的な経営などを学ぶ必要性があると感じる。製菓業界が稼げる業界にならなければ新しい人材は入ってこない。 ・製菓技術があっても販売する術がなければどんなに美味しいものでも買ってもらえない。パッケージ、値段の付け方、フライヤーなどの各要素も学んでいく必要がある。 ・商工会でも創業応援塾をやっており、以前は引退した方が多かったが、近年は20代～若い世代で起業したいという方が増えてきている。 <p>【改善策等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生募集に関して、大学進学率の高まりとともに年々厳しい状況となってきたが、今年度は、去年の同時期に比べると状況が良い。引き続き、本場フランスの製菓、製菓技術を学べるという本校特徴を強くアピールしていく。 ・パンフレットでは「学生一人ひとりの不安をサポートしていく」という内容をワンチームプロジェクトと名付けている。教員が寄り添いながら学べる環境であることをPRしていく。 ・本学でも販売実習を行っているが、千葉商科大学の「学生ベンチャー食堂」のように、自分たちで経営から全てマネジメントする経験を得られるような取組みとなるよう、今後目指していきたい。

<p>基準8 財務</p>	<p>(1)収入・支出の把握・処理は各学校、正確に行っており、計算書類も内訳表として作成しているので今後は、学校ごとに更に点検、評価をしていき、見直していきたい。</p> <p>(2)よりよい教育環境を維持していくため(整えるため)に財務分析を更に行っていく。</p> <p>(3)社会への説明責任を果たし、質保証・向上に取り組む観点から、財務諸表について積極的な情報公開を図る。</p>
<p>「学校関係者評価委員による評価」及び「本校のとり改善方策」</p>	<p>【委員の評価・意見】 ・特に問題なし。</p> <p>【改善策等】 ・厳しい状況が続いているため、突出していた高等課程の予算を少し削っていく形で対応していきたい。</p>
<p>基準9 法令等の遵守</p>	<p>(1)常に法人事務局が監理することで、学校教育法、私立学校法、専修学校設置基準、製菓衛生師法、調理師法などの関連法規に準拠して運営をしている。今後は、教職員・学生等に対する啓発活動を積極的に図っていく。</p> <p>(2)個人情報の取扱いについても、方針を記述した文章を配布してそれぞれの特性に応じて管理を厳重に行っている。今後も最新情報に対応しながら、さらに厳重管理をしていく必要がある。</p> <p>(3)現在、製菓衛生師養成施設・調理師養成施設の学科(厚生労働省管轄)については、特別に定められた書式による自己点検・自己評価を定期的実施している。</p>
<p>基準9 「学校関係者評価委員による評価」及び「本校のとり改善方策」</p>	<p>【委員の評価・意見】 ・特に問題なし。</p> <p>【改善策等】 ・法を順守し、引き続き的確な対応を行っていく。</p>

<p>基準10 社会貢献・地域貢献</p>	<p>(1)年々、地域の方々の本校に対する興味関心が高まってきており、協力依頼が増加傾向にある。本校は移転当初から立川市に根ざした製菓学校を目指しているのもその期待に応えることを目指す。</p> <p>(2)製菓学校として地元の立川市などが主催するイベントには積極的に参加し、学生生徒も製菓指導者(マジパンなどの作品指導)として無償で協力している。地域の皆様からの反応はおおむね好評である。</p> <p>(3)学園祭・販売実習など本校の行事を通じて地元の人々との交流の機会を大切にしている。いずれも、地域に根差した恒例行事となっている。</p> <p>(4)地域企業自治体と連携・協同し、商品開発や地域活性等の活動に年間を通じて取り組む「産学協同プロジェクト」も始動している。</p> <p>(5)学校周辺での清掃活動は毎年度の検討事項である。</p>
<p>「学校関係者評価委員による評価」及び「本校の改善策」</p>	<p>【委員の評価・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね良好。献血ルームとの提携は社会貢献に繋がる。 ・校舎外看板の改修が望ましい。「知・技・倫・汗」ではなく、より分かりやすいキャッチコピーなどを出し、製菓の専門学校であることが外から見て分かりやすいようにすると良いのでは。立川のシンボリックな建物を目指すが良い。 ・立川は通信制の学校が多いため、そういったところにアプローチして知ってもらおう活動をするが良い。 <p>【改善策等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校が小平市から立川市に移転して21年目となる。様々なイベントの実施や参加を通して、立川の市民の方々に広く知られる学校となってきた。引き続き、地元立川や地域に貢献できるような活動を積極的に行っていく。 ・校舎外壁面にラッピング広告を行うことを検討中。